



# WEEKLY REPORT

2018.4.27 NO.2456

八幡西ロータリークラブ



ROTARY: MAKING  
A DIFFERENCE

ロータリー:  
変化をもたらす

2017~2018年度  
会長 吉田総次郎  
副会長 岩崎 員久  
幹事 富田 稔

《会報委員会》

松尾 和典 大坪 隆 赤田 隆一  
有松 稔晃 櫻井 久紀 中村 克己  
棚野 晴司

RID2700地区安増惇夫ガバナームッセージ

『拡がりは変化をもたらします』

3つの拡がり

①会員の拡がり ②奉仕の拡がり ③対外広報の拡がり

例会場・事務局 北九州市八幡東区西本町1-1-1千草ホテル  
TEL093-681-0694 FAX093-681-0984  
例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

## 次回例会のお知らせ

① 5月4日 祝日休会

② 5月11日「動物の検疫について」農林水産省 動物検疫所 門司支所 鎌川浩之 様

## 【本日の例会】 2018年4月27日(金)

1. ロータリーソング " 2700のマーチ "
2. 来客紹介
3. 出席状況の報告
4. 祝誕生 福田 学君 S57年4月27日
5. 会長の時間
6. 各委員会報告
7. ニコニコボックスの報告
8. 幹事報告
9. クラブアッセンブリー  
国際ロータリー第2700地区 地区研修・協議会の報告  
参加者報告

## 【幹事報告】 幹事 富田 稔 君

- 1) 地区大会事務局よりのご連絡。  
5月19日(土)大会第1日目の開会時間を下記のように変更いたします。  
・登録開始時間 :11時30分  
・開会時刻 :12時30分と、30分早めます。

## 2) 例会臨時変更のお知らせ。

### ★八幡RC

- ① 4月24日(火)18:30~ちんちくりん
- ② 5月1日(火)は休会
- ③ 5月22日(火)17:30~大谷会館
- ④ 6月12日(火)夜間(時間、場所未定)

### ★戸畑RC

- ① 4月26日(木)18:30~西日本工業倶楽部

### ★小倉中央RC

- ① 5月28日(月)12:30~ミクニワールドスタジアム北九州
- ② 6月25日(月)18:30~リーガロイヤルホテル小倉

### ★小倉西RC

- ① 6月21日(木)18:30~ステーションホテル小倉
- ② 6月28日(木)は休会

## 【前例会の記録】 4月20日(金)

例会食事カロリー	1,120 Kcal
出席報告	
会員数	50名
当日の出席数	33名
ゲスト:	1名
ビジター数	名
会員出席率	67.35%
4月6日の修正出席率	84.00%
ゲスト: <スピーカー> 松本麻子 様	

## 【会長の時間】 会長 吉田 総次郎 君

自由ヶ丘高校インターアクトクラブの例会が昨日開催されました。学校は、新年度になり、顧問教師も新しく若い二名の男性先生方(藤田、宮城先生)が出席されていました。菖蒲先生と三人体制でこれからご指導をいただくこととなります。数年前に自由ヶ丘高校が年次大会を担当することになります。自由ヶ丘高校インターアクトクラブの今後の発展を祈念するとともに私たち提唱クラブ全体の事として準備したいものです。

## 【各委員会報告】

プログラム委員会 委員長 舟木 和博 君

明日21日(土)地区研修会が福岡で開催されます。来週の卓話の時間に地区研修会の報告を予定していますので出席される方々は報告をよろしくお願いいたします。

## 【同好会報告】

ゴルフ同好会 舟木 和博 君

先週15日(日)第4回コンペの結果報告です。  
優勝 三島君、第2位 稲富君、第3位 福田君でした。  
当日は、勧誘のためにお二人がコンペに参加されました。  
お二人とも中々の腕前でした。

優勝者コメント 三島 靖男 君

当日は、稲富さん、大林さん、伊豆さんと一緒にプレーしました。大林さんには励まされ、伊豆先生とは、いろんな話をさせてもらって楽しい一日でした。その結果、優勝させてもらいました。これからも頑張りますので、よろしく願いいたします。

音楽同好会 正木 文久 君

明日21日(土)アンディでおやじバンド演奏がございませう。開場19時、開演19時30分ので我々の演奏は、20時10分より行いますので時間に余裕のある方は是非お越しください。

## 【卓話】

「八幡在宅医療・介護連携支援センターについて」  
八幡在宅医療・介護連携支援センター 看護師/ケアマネージャー  
松本 麻子 様



北九州市でこの在宅医療・介護支援センターは、平成27年度に設立され、28年度から北九州市の5地区(小倉・戸畑・若松・八幡・門司)に設置されています。今年度から全国の市町村にこのセンターが設立されます。今日は「何故、今、在宅医療を推進しなければならないのか?」や全国にこのセンターを設置して国が「何故、在宅医療と介護の連携事業の推進をすすめているのか?」についてご説明させていただきます。

## ◆在宅医療に係る背景

「最期を迎えたい場所」として54.6%の方が「自宅で迎えたい」と希望されています。また、「介護を受けたい場所」としても34.9%の方が自宅を希望しています。しかし実際は80%の方が病院で亡くなり、自宅は12%となっています。最近、病院が少し減って、介護老人保健施設が微増しています。

## ◆在宅医療・介護にかかる背景

①65歳以上の高齢者は、今後しばらく増加する。特に75歳以上の高齢者は2055年に全人口の4人に1人の割合となる。北九州市は、政令指定都市の中で最も高齢化率が高く2025年には、高齢化率は33.5%に昇ると言われています。

②人口に対する病院の数が多い、特に北九州市はその傾向にあります。

③病院における平均在院日数が高い。

④一般病院(総合病院)の役割が不明確(高度な医療が必要な患者とそうでない患者などとの混在)が今後問題になる。

⑤国の調査によると国民の6割が「自宅で療養したい」と回答している。また療養についても4割が「自宅や家族の家での介護」を回答している。

## ◆医療・介護機能の再編(将来像)

国が、患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や医療機関間、医療と介護の間の連携強化を通じてより効果的・効率的な医療・介護サービスの提供体制を構築します。

## ◆北九州市の高齢化率

北九州市の高齢化率は高く、八幡東区、西区は後期高齢者の割合がとて高くなっています。

## ◆在宅医療・介護を取り巻く社会的背景

75歳以上の高齢者の方は慢性疾患により受療しています。また複数の病気にかかりやすく、年齢の増加に伴い、認知症の発生率、要介護の発生率が高くなります。このような高齢者は、医療・介護の両方が必要となります。現状は、「医療と介護の保険制度が異なる」、「医療・介護の連携が十分とは言えない」ので今後は、「医療と介護が包括的に提供される体制が必要」となります。

## ◆地域包括ケアシステム

「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように支援する仕組み」です。みなさんが自宅やケア付き高齢者住宅や施設で暮らして、治療が必要になった時は、医療機関に入院するが治療が終わったらずに退院して在宅医療に切り替え、訪問診療の先生や訪問看護の人たちと連携をとって在宅療養を続けることです。この在宅療養を支える要としてケアマネージャーが重要となります。そのマネージャーを支えるのが私たち、地域包括支援センターになります。

## ◆地域包括支援センター業務内容

①在宅医療に関する専門相談窓口(一般市民からの相談は受け付けていない)地域の医療・介護サービス提供者からの在宅医療に関する相談に対して、看護師・ケアマネージャー等の資格を有する専任の相談員が適切な支援等を実施。

## ②退院への支援

退院後に在宅での療養が必要となる高齢者等の退院調整に関する病院等からの相談への対応及び退院調整への支援を実施。

## ③多職種・多機関間の連携促進

顔の見える関係を作り、地域の多職種・多機関間の連携推進を行う。

## ④人材育成・研修・普及啓発

医療・介護の専門職を対象とした、在宅医療・介護に関する研修会等を開催する。

一般市民を対象に、在宅医療・介護の理解を深めることを目的とした講演会等を開催する。

## ⑤情報集約・発信

訪問診療を行っている事業所や訪問看護ステーション等の把握。地域情報ポータルサイト「ジモッティ」

## ◆最後に

・若く元気なうちに、ご家族と「もしも病気になったら、どのような療養生活を送りたいか?」を話す機会を持って下さい。

・「最期まで自宅で過ごしたい」という選択肢を支えようとする専門職が年々増加していることを知って下さい。

## 【ニコニコボックス】

・ケアマネージャー松本麻子様を歓迎して  
伊豆、小嶋、河島、浜崎、安東、江崎、井上の諸君

・旅行同好会より、今後ともよろしくお祈りします  
京都・奈良旅行参加者一同+添乗員

・櫻井さんとおきの日南娘(ヒナムスメ)ありがとうございました  
名前も良いけど味も最高でした。

吉田君

・4月14日(土)に第3子が無事産まれました。  
これから家族5人頑張っていきますので皆様よろしく  
お願い致します  
三島君

・三島さん第3子誕生おめでとございます  
波多野、紙上、金久保、藤村、中村、岸野の諸君

・高嶋先生 息子が大変お世話になりました  
太田吉彦君